

あらかわ 大好き NEWS

9月に入って暑さもやわらいできました。いかがお過ごしでしょうか？今年の夏は暑かったですから、そろそろ夏の疲れが出てくる頃でしょうか。区議会では平成23年度の決算委員会が始まります。ぜひ、傍聴にお越し下さい。

あけど 荒川区議会議員
明戸まゆみ



討議資料

平成24年第3回定例会が開催されます！

荒川区議会の第3回定例会は9月11日（火）～10月9日（火）の会期で開会予定です。第1回補正予算（不活化ポリオワクチン接種等）、食品衛生法改正による検査器具について、3ヶ所のひろば館の廃止、災害対策基本法改正のための防災会議について、尾久八幡中学建て替えに伴う理科室・給食室の備品購入、来年開園の日暮里の夕やけこやけ保育園・ふれあい館、南千住の石浜ふれあい館、既存の総合スポーツセンター、ふれあい館3館の指定管理者の指定についてが議題です。決算委員会は9月21日より始まります（9/21・24・25・27・28、10/1・2・3）。

自民党荒川区議団で予算要望を提出しました！

今年も自民党荒川区議団では9月11日に区長に対して予算要望を提出しました。60テーマ254項目にわたって荒川区の課題について述べています。重点項目として、①災害に強いまちづくり、②図書館・文化・子育ての拠点となる融合施設の建設、③リサイクルセンター建設、④若者の就労支援策の充実です。また、11月の区長選挙に向けて「政策協定」も結び、みなさまの声を実現して参ります。



(2012.9.11：区長室にて)

最近の荒川区 9月1日、荒川区の荒川2・4・7丁目が東京都の「木密地域不燃化10年プロジェクト」の先行実施地区に他の11区と共に認定されました。建て替え時に不燃化助成を上乗せするなどの優遇措置によって、不燃化を促進することになります。◆またこの地区を通る補助90号線（明治通り女神インキ横 - 町屋交番横）は災害時の延焼防止のための東京都が優先的に道路整備を行う区間に指定されました。2020年までに道路を広げ、燃え広がらない街に整備します。◆あら坊の妹キャラクター「あらみい」が、10月6日の区政施行80周年式典においてお披露目されました。区長からあら坊とあらみいに特別住民票が交付されました。◆11月1日からコミュニティバスの新コース運行が始まります。コースは新三河島駅→疎開道路（306号線）→熊野前駅→原河岸通り→5中前→町屋駅です。1周35分で、大人150円、子供80円、乗り継ぎはプラス50円でできます。

荒川区いろいろお知らせ！

- 「都電ハロウィン号」が運行 →詳しくは区ホームページで
◆9/29（土）-10/31（水）◆青いレトロ調車両内
- 荒川ふるさと文化館企画展「山車人形が街をゆく」
◆11/10（土）-12/9（日）9：30-17：00 ◆入館料：100円
- 記念シンポジウム「文化財としての山車人形を考える」
◆11/25（日）13:30-16:00 ◆入場無料（B1F）
- 荒川区長選挙公開討論会
◆10/23（火）18:30～20:30 ◆首都大学東京荒川キャンパス
- 特別養護老人ホーム「おたけの郷」入所希望者説明会
◆10/14（日）10時、14時、19時（3回、2時間）

荒川区いろいろ募集！

- 荒川の匠育成支援事業
：職人見習い募集（10/31まで）
漆塗り、手描き友禅（糸目友禅）
30歳まで各1人
- 事業者向け節電コンテスト募集（10/31まで）区内事業者
- 都電荒川線沿線絵画コンテスト募集（10/31まで）
部門：小学低学年 / 高学年 / 中学生 / 一般・高校生
- 日暮里駅前フリーマーケット開催
◆10/27-28（土日）10-16時 ◆日暮里駅前



荒川の明るい未来の戸をあける 自民党に新しい風を！

発行 荒川区東尾久 4-51-16-201 電話：080-6505-8823 FAX：03-6327-6308

E-mail: akedo@akedo.jp HP: http://www.akedo.jp/

ブログ日記: http://akedoma.blog77.fc2.com/ (毎日更新！)

ご意見・
お問合せも

あけど 荒川区議会議員
明戸まゆみ



「災害に負けない、元気が出るまちづくり」講演会が開催！

荒川区のまちづくりをしたい人、事業者！
まちを元気にするヒントがここにある。
みんなでお話ししよう！お友達も誘おう！

住民の力でつくる タフで心やさしいスーパー公務員を顔にしよう！
災害に負けない・元気が出るまちづくり

日時：8月28日(火)
午後 7:00～8:30 (受付 6:30開始)
場所：尾久ふれあい館 4F レクホール
定員：50名 **参加無料**

講師：**渋谷和久氏**
国土交通省総合政策局総務課長(併)復興庁統括官付

●なお、終了後、会費制にて懇談会を開催いたします。講師と荒川区のまちづくりに関して語り合います。ぜひご参加下さい。

主催：あらかわコミュニティ研究会(ACS) 共催：あらかわ区まちな駅ネットワーク

8月28日(火)に「第1回あらかわ元気が出るまちづくり講演会」が開催されました。講師は、国土交通省総合政策局総務課長(併)復興庁統括官付の**渋谷和久氏**でした。防災の最新のお話をわかりやすくお話しいただきました。講演会の概要をまとめますので、ご参考にしていただければと思います。

まず過去の地震の被害から言えることは、関東大震災では9割が火災による死者・行方不明者だったことを受け、建物の耐火化を推進してきた。また、当時の写真を見ると、多くの家は木造で、縁側等のある壁の少ない構造である1階が倒壊していることが分かる。建物が倒壊すると火災も多くなる。阪神淡路大震災では**8割が家屋**

の倒壊による下敷きで死亡している。倒壊した家屋から助けられた人のうち8割は家族・近隣の人によってすみやかに救助されており、警察や消防、自衛隊によって時間が経ってから助けられた者の生存率は低い。とにかく隣り近所で作るコミュニティを強化するとともに、**最初の30秒を生き延びなければならない**。そのためには、昭和56(1981)年以前の家屋は耐震診断・改修を行わなければならない。

木造住宅における**耐震改修工事費**は100～150万円の実施が多い。荒川区でも助成制度があり、個人住宅で2/3助成(上限100万円)が出る。**家具の固定**は、タンスの上に隙間をつくらぬことで分厚い壁の役割を果たせるようになります。**テレビの固定やガラスの飛散防止フィルム**も効果的です。「生き残ってから」よりも「生き残るため、死なないための努力」を先にしましょう。

木造密集地域の火災の炎は合流により最大45mにもなり、延焼が拡大してしまう。**延焼を防ぐ道路の拡幅**や袋小路等での避難路確保のための災害時に破れるドアや階段を整備する等の**庭先避難路**もある。**災害用伝言ダイヤル171**は覚えておくのと役に立つ。

南海トラフの被害想定は明日の5時に発表されるが、ショッキングな内容になっている。首都直下地震は、30年以内にM7クラスが70%の確率で発生すると予測されている。関東大震災と同じM8クラスの地震は200～300年のうちに1度と歴史的な統計はあるが、これまで起きた地震の発生率からの予測ではこう言えるが、未知の部分はある。都内の270万棟の建物のうち、12万7千棟が全壊、34万5千棟が半壊と予測されている。阪神淡路大震災の被害(全壊10万5千棟、半壊：14万4千棟)と比較しても甚大な被害が予測されている。

ご近所の底力(地域のつながり)も重要。ふだんからお互いに声を掛け合うと、いざという時に助け合える。「防災のために何かをする」取り組みだけでなく「〇〇のために」あるいは「〇〇に併せて」防災の取り組みをすることが大切。西尾久四丁目町会区民レスキュー隊(消防庁長官賞)、北区上十条5丁目町会、平塚の防災まちづくり、早稲田の飛散防止フィルムお助け隊、目白まちづくり倶楽部、京都の加古川グリーンシティ防災会等の全国の活動例もあります。**人的防災力**が大切です。神戸や中越の復興例も参考になる。共感する人が集まって「やらされている意識」から「自分たちがやる地域活動」へ「物語づくり」をしていかななくてはなりません。



主催：あらかわコミュニティ研究会(ACS)
共催：あらかわ区まちな駅ネットワーク

荒川の**明**る**い**未来の**戸**をあける

問合せは明戸まで！

昭和45年、青森県十和田市生まれ。42歳。
岩手大学卒、東京大学大学院修了、國學院大学大学院博士課程。
NPO地域交流センター研究員を経て平成20年11月区議初当選。

あけと 荒川区議会議員
明戸まゆみ

